

男女共同参画会議 第21回重点方針専門調査会 令和元年9月18日	資料12
--	------

(通し番号167、168)

「女性活躍加速のための重点方針 2019」

Ⅱ あらゆる分野における女性の活躍

5. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成

b) 女性研究者の活躍促進に向けた環境整備

(文部科学省説明資料)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

令和2年度要求・要望額 1,175百万円
(前年度予算額 1,008百万円)

背景・課題

- 人口減少局面にある我が国において、研究者コミュニティの持続可能性を確保するとともに、多様な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションを活性化していくためには、女性研究者の活躍促進が重要であるが、女性研究者割合を諸外国と比較すると依然として低い水準にあり、特に上位職に占める女性研究者の割合が低い状況。
- そのため、女性研究者が出産、育児等のライフイベントにかかわらず研究を継続できる環境の整備や、女性研究者の研究力向上を通じた上位職登用の促進が必要。

事業概要

事業の目的・目標

- 研究と出産・育児等のライフイベントとの両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援する

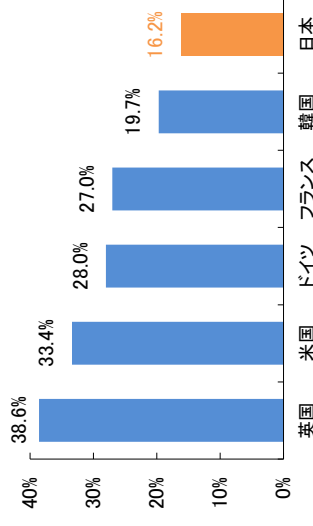
ダイバーシティ実現に向けた取組の支援

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 事業期間：6年間（うち補助期間3年間）
- 支援取組：
 - ①牽引型 複数の機関が連携し、地域や分野における女性研究者の活躍を牽引する取組
 - ②先端型 女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用の一層の推進等の取組
 - ③特性対応型（新設） 分野や機関の研究特性や課題等に対応し、研究効率の向上を図りつつ、女性研究者の活躍を促進する取組
 - ④全国ネットワーク中核機関（群） 国内外の取組動向の調査や経験、知見の全国的な普及・展開を図るための全国ネットワークの構築を目指す取組
- 支援金額：500百万円程度/年

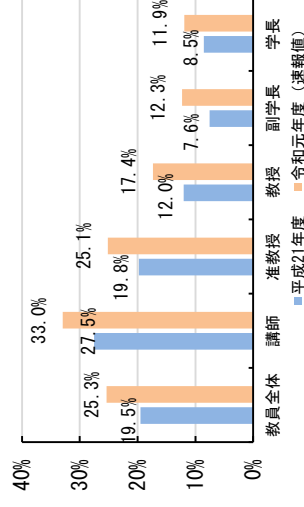
調査分析等の実施

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 事業期間：2年間
- 支援取組：女性研究者の活躍促進に資する海外の優れた取組に関する調査分析
- 支援金額：250百万円程度/年

■ 女性研究者割合の国際比較



■ 大学における職位別の女性教員の在籍割合



※学校基本統計等より作成



特別研究員事業

事業の概要

令和2年度要求・要望額 18,931百万円
 (前年度予算額 15,627百万円)
 ※運営費交付金中の推計額

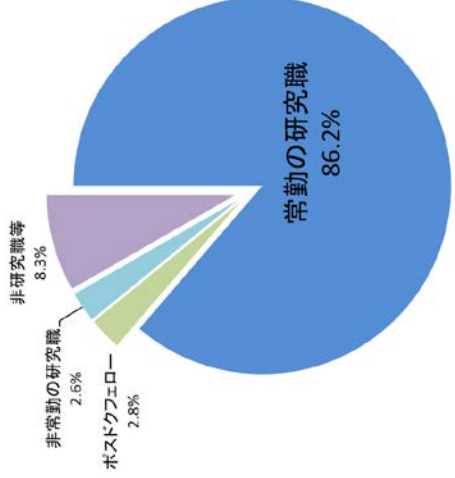
優れた若手研究者に対して、その研学生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えるため、特別研究員として採用・支援することで、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保を図る。

博士課程学生	特別研究員 (DC) 【対象】 博士課程(後期)学生、研究奨励金：年額2,400千円、採用期間：3年間(DC1)、2年間(DC2) ○ 優れた研究能力を有する博士課程(後期)学生が、経済的に不安を感じることなく研究に専念し、研究者としての能力を向上できるよう支援 ○ 支援人数 4,196人⇒5,067人(新規1,750人→2,664人)、増税対応 研究奨励金(年額)2,400千円⇒2,448千円 10,070百万円⇒12,405百万円
ポストドクター	特別研究員 (PD) (SPD) 【対象】 博士の学位取得者、研究奨励金：年額4,344千円(PD)、5,352千円(SPД)、採用期間：3年間 ○ 博士の学位取得者で優れた研究能力を有する者(PD)及び世界最高水準の研究能力を有する者(SPД)が、大学等の研究機関で研究に専念し、研究者としての能力を向上できるよう支援 ○ 支援人数 PD：1,000人⇒1,171人(新規305人→524人)、増税対応 研究奨励金(年額)4,344千円⇒4,431千円 SPD：36人⇒36人(新規12人→12人)、増税対応 研究奨励金(年額)5,352千円⇒5,459千円 PD：4,344百万円⇒5,189百万円 SPD：193百万円⇒197百万円
	特別研究員 (RPD) 【対象】 出産・育児による研究中断から復帰する博士の学位取得者、研究奨励金：年額4,344千円、採用期間：3年間 ○ 博士の学位取得者で優れた研究能力を有する者が、出産・育児による研究中断後、円滑に研究現場に復帰することができるよう、大学等の研究機関で研究に専念し、研究者としての能力を向上できるよう支援 ○ 支援人数 214人⇒237人(新規75人→87人)、増税対応 研究奨励金(年額)4,344千円⇒4,431千円 930百万円⇒1,050百万円

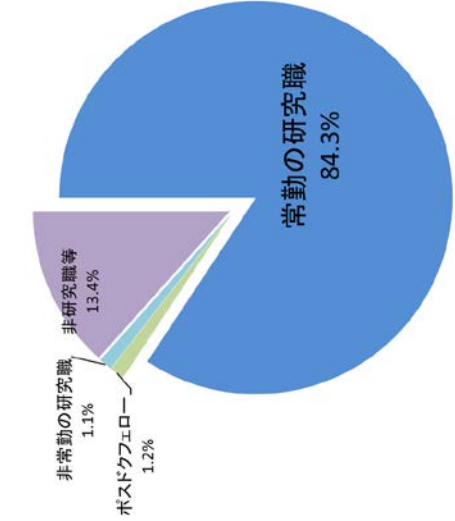
■特別研究員終了後の就職状況

平成30年4月1日現在

・PD採用終了から5年経過後



・DC採用終了から10年経過後



■特別研究員の優れた研究成果

『サイエンス誌』に載った日本人研究者(2015-2017年版)に掲載されている論文(計156編)において、特別研究員採用経験者または特別研究員が著者に含まれる割合は、57.7%と過半数を占めている。

